

コロナ禍での市民の暮らしを守れ 子供も職員も安心できる施設を



米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 TEL52-1093
日本共産党湖北地区議員団
事務局 藤田正雄 TEL55-1527

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

本号は、9月7日の米原市第3回定例会での山脇議員の一般質問(2)を掲載します。

子供施設の感染対策と職員が安心して働ける環境づくり

Q、子育て関連施設での子どもの感染と施設の一時的閉鎖を受けて、今までの新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の中で特に強化した取り組みは何か。

A、6月定例会において、日常保育以外の延長保育や一時預かり事業、病児保育事業等の消毒作業に必要な消耗品のほか、密集を避けるための備品や二酸化炭素濃度測定器など機器等を追加配備するための補正予算について承認いただき、対策強化に努めています。放課後児童クラブにおいても、新型コロナウイルス対策に万全を期すため、消毒作業に必要な消耗品を追加購入し、支援員により施設内の消毒作業を徹底しているところ です。

ます。また、検査を行う場所は特定することとし、検査の際に必要な防護用品については各施設に配備いたしました。抗原検査簡易キットについては、配布先へ十分な説明・研修を行い、必要な時には、躊躇なく使用していただけるように努めてまいります。

職員のワクチン接種率は

Q、子育て関連施設の職員は、ワクチン接種を優先させているはずだが、保育所、認定こども園、放課後児童クラブ別に職員の新型コロナウイルスワクチン接種状況はどうか。

Q、子育て関連施設の職員は、ワクチン接種を優先させているはずだが、保育所、認定こども園、放課後児童クラブ別に職員の新型コロナウイルスワクチン接種状況はどうか。

A、ワクチンの接種状況については、8月末時点において、1回目の接種を終えた職員の割合は、75%、2回目の接種も終えた職員の割合は、46%となっております。放課後児童クラブの支援員については、8月末時点において、1回目の接種を終えた支援員の割合は76%、2回目の接種も終えた支援員の割合は41%となっております。

Q、新型コロナウイルス禍における放課後児童クラブの多くは、密を避けるため、使用する部屋を増やしたり、支援員を増やしたりしており、運営費が増大している。ぜひ運営事業委託料について、新型コロナウイルス加算等により増やしていただきたいが。

Q、子育て関連施設等に配布される抗原検査簡易キットは、症状のある職員への緊急のものだが、現場では採取に必要な場所も防具もない。無理なく活用できる対応策を具体的に示すことを求めるが。

A、抗原検査簡易キットによる検査の実施は、医療従事者の管理のもとで行うことを原則としていますが、医療従事者が常駐していない施設においては、厚生労働省が示すガイドラインおよび検査キットの使用方法をもとで行うこととしている。

Q、保育現場が疲弊しないよう、今後もさまざまな手段を活用し、ひとりでも多くの保育士を採用し、保育士確保に努めていただきたいが。

A、保育士の確保については、喫緊の課題として取り

保育士の確保対策は

Q、放課後児童クラブの運営団体に対しては、感染症対策に必要な衛生資材の配布や、空気清浄機等の購入補助など積極的な支援を行っています。その上で、さらに感染症対策を徹底するようお願いをしているところでもありますので、別途、新たな経費が発生する場合は、必要に応じて調整していきたいと考えています。

Q、子育て関連施設等に配布される抗原検査簡易キットは、症状のある職員への緊急のものだが、現場では採取に必要な場所も防具もない。無理なく活用できる対応策を具体的に示すことを求めるが。

Q、保育現場が疲弊しないよう、今後もさまざまな手段を活用し、ひとりでも多くの保育士を採用し、保育士確保に努めていただきたいが。



雑感 米原市は、新型コロナウイルスに感染した妊婦を受け入れるため、今は使われていない能登瀬の旧近江診療所に10床以上を確保し、運用を始めることになりました。先月、千葉県柏市で新型コロナウイルスに感染した妊婦の入院先が見つからず、自宅で産まれた赤ちゃんが亡くなりました。これを受けての対応です。県のコントロールセンターを通じて感染した妊婦を受け入れ、彦根市の神野佳樹医師が診療にあたるということです。妊婦専用の病床は大阪にはありますが、滋賀県内では初めてです。平尾市長は、「専用病床を確保することで、治療を受けられるか心配している妊婦さんたちが安心して産むことができる体制を整えたい」と話しています。米原市でこのような先進的な取り組みが行われるのは歓迎します。